

HDMI KVMスイッチ

# マニュアル

ENJOY THE VIVID WORLD

HDMI・KVM



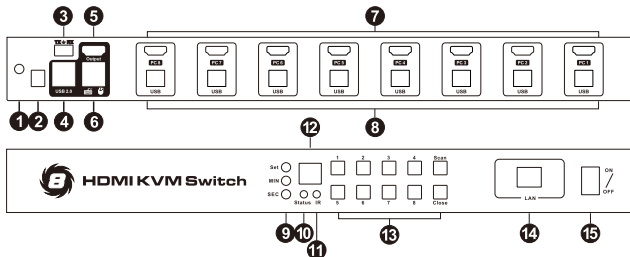
## 特徴

- 1セットのキーボード、マウス、モニターを使用して、8/16のホストデバイスを制御する。
- Unix/Windows/Debian/Ubuntu/Fedora/Mac OS X/Raspbian/Ubuntu for Raspberry Piおよびその他のLinuxベースのシステムに対応。
- 各入力ポートにEDIDエミュレータを搭載し、常に正しい表示情報を持つようにPCを保つ。
- ホットプラグに対応し、いつでもデバイスをHDMIスイッチに接続または切断できます。デバイスの電源を切る必要はありません。
- 指定された時間間隔でコンピューターをモニターに自動的に切り替える機能をサポートしています。
- フロントパネルのボタン、IR信号、キーボードのホットキー、RS232シリアルコマンド、またはIPコマンドを使用してKVMスイッチを制御する機能をサポートしています。
- 最大解像度3840\*2160@30Hzに対応しています。  
自動的な入力検出と切り替えをサポートしています。
- 追加の標準USB 2.0ハブポートを備えており、バーコードスキャナーやUSBハードドライブなどのUSBデバイスをKVMに接続することができます。まるでこれらのデバイスを直接コンピューターに接続したかのように使用することができます。
- HDMI-to-DVIアダプタを使用することで、DVI-Dシングルリンクのソースとディスプレイをサポートしています。

## パッキングリスト：

- 1\* HDMIKVMスイッチ
- 1\* DC 12V電源アダプター
- 1\* IRリモコン
- 1\* IRレシーバーケーブル
- 1\* 3ピンコネクタ (RS232用)
- 2\* ラックイヤー
- 1\* ユーザーマニュアル

## 8x1(A30)パネルの説明：

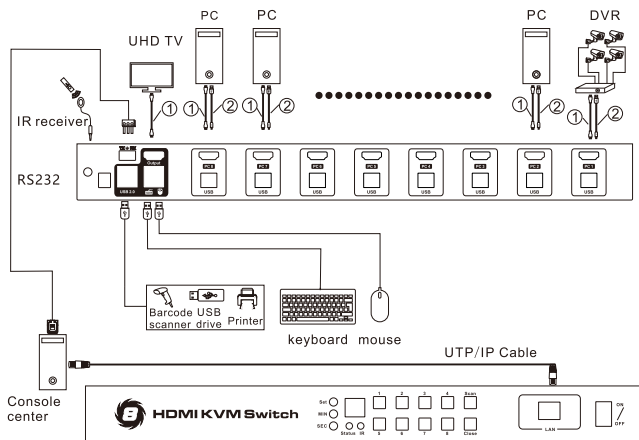


| ID | 名称                | 説明  |
|----|-------------------|---|
| 1  | 赤外線入力             | このポートにIRレシーバー延長ケーブルを接続すると、ラックにKVMスイッチが設置されていても、赤外線リモートコントロールを使用することができます。 |
| 2  | DC 12V            | 12V DC電源供給  |
| 3  | RS232ポート          | このポートを任意の制御端末に接続することで、RS232コマンドを送信して入力ソースを選択することができます。                    |
| 4  | USB 2.0ポート        | USB 2.0デバイスに対して、例えばプリンター、USBハードディスク、バーコードスキャナー、タッチパッドなどに対応しています。          |
| 5  | HDMI出力            | HDMIディスプレイに接続してください。  |
| 6  | USBキーボードおよびマウスの入力 | USBキーボードおよびマウスの入力には、ワイヤレスキーボードやマウスも含まれます。                                 |
| 7  | HDMI入力ポート         | HDMIソースデバイスに接続してください。   |



| ID | 名称            | 説明  |
|----|---------------|---|
| 8  | USBデータ        | USBタイプAからタイプBのケーブルを使って、コンピュータのUSBポートに接続してください。  |
| 9  | 自動スキャンの時間間隔設定 | [MIN]: ボタン[MIN]を押すとループします。<br>0~59分の間<br>[SEC]: ボタン[SEC]を押すとループします<br>0~59秒の間<br>「設定」: 分を設定後、<br>秒間、[設定]ボタンを押して入力します<br>最終スキャン時間間隔の設定   |
| 10 | ステータスLED      | 赤: 通常の状態<br>緑: 自動スキャンモード  |
| 11 | 赤外線受信機        | 赤外線信号を受信する  |
| 12 | LEDディスプレイ     | 現在選択されている入力ソースの表示番号   |
| 13 | キーパッド         | [1-8]: これらのボタンを押すとダイレクトに<br>入力 1 ~ 8 ソースを選択します。<br>[閉じる]: このボタンを直接押すと、<br>HDMI出力をオンまたはオフにする<br>画面<br>[スキャン]: このボタンを押して開始または<br>停止します。<br>入力 1 から入力 1 までの間を自動的にスキ<br>ャンします。<br>入力 8. インターバル時間は次のように設定<br>できます。<br>ボタン [Set]、[MIN]、[SEC] (前述) |
| 15 | パワースイッチ       | 電源のオンまたはオフ  |

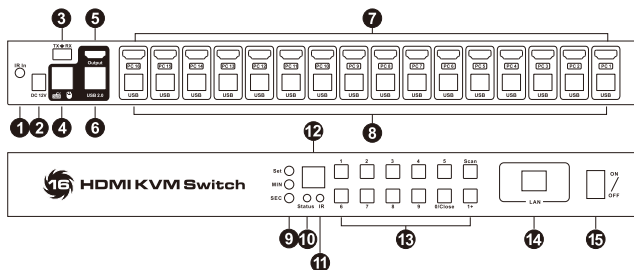
## 8x1(A30)接続図:



### 注意:

HDMIケーブル  
USBタイプAからタイプBのケーブル

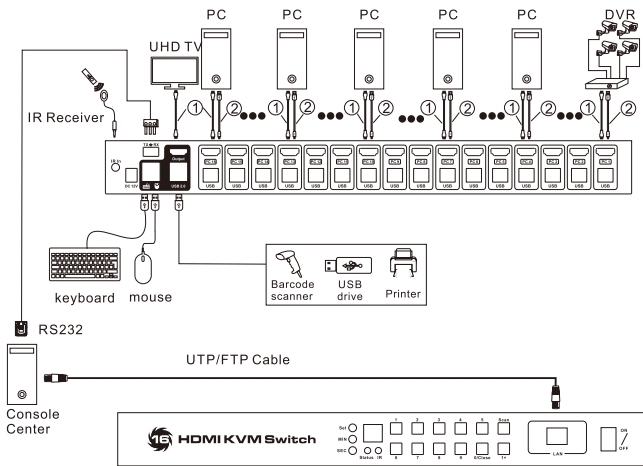
## 16x1(A10)パネルの説明：



| ID | 名称              | 説明  |
|----|-----------------|---|
| 1  | 赤外線入力           | このポートに赤外線受信機延長ケーブルを接続すると、KVMスイッチがラックに設置されていても赤外線制御を使用することができます。 |
| 2  | DC 12V          | 12V DC電源供給  |
| 3  | RS232ポート        | このポートを任意の制御端子に接続すると、RS232コマンドを送信することで入力ソースを選択することができます。         |
| 4  | USBキーボードとマウスの入力 | USBキーボードとマウスの入力には、ワイヤレスキーボードとマウスも含まれます。                         |
| 5  | HDMI出力          | HDMIディスプレイに接続してください。  |
| 6  | USB 2.0ポート      | USB 2.0デバイスには、プリンター、USBハードディスク、バーコードスキャナー、タッチパッドなどがあります。        |
| 7  | HDMI入力ポート       | HDMIソースデバイスに接続してください。   |

| ID | 名称            | 説明  |
|----|---------------|---|
| 8  | USBデータ        | USBタイプAからタイプBのケーブルを使って、コンピュータのUSBポートに接続してください。  |
| 9  | 自動スキャンの時間間隔設定 | [MIN]: ボタン[MIN]を押すとループします。<br>0~59分の間<br>[SEC]: ボタン[SEC]を押すとループします<br>0~59秒の間<br>[設定]: 分を設定後、<br>秒間、[設定]ボタンを押して入力します<br>最終スキャン時間間隔の設定   |
| 10 | ステータスLED      | 赤:通常の状態<br>緑:自動スキャンモード  |
| 11 | 赤外線受信機        | 赤外線信号を受信する  |
| 12 | LEDディスプレイ     | 現在選択されている入力ソースの番号を表示します。  |
| 13 | キーボード         | [1-9]: これらのボタンを押すとダイレクトに<br>入力1~9ソースを選択します。<br>[0/閉じる]: このボタンを直接押すと、<br>HDMI出力をオンまたはオフにする<br>画面; [1+] を押してから [0/閉じる] を押して<br>ください。<br>入力10を選択<br>[1+]: [1+]を押してから[1]?[6]を押して選択<br>します<br>入力11~16<br>[スキャン]: このボタンを押して開始または<br>停止します。<br>入力1から入力1までの間を自動的にスキ<br>ャンします。<br>入力8. インターバル時間は次のように設定<br>できます。<br>ボタン [Set]、[MIN]、[SEC] (前述) |
| 15 | パワースイッチ       | 電源のオンまたはオフ  |

## 16x1(A10)接続図:



### 注意：

HDMIケーブル  
USBタイプAからタイプBのケーブル

## 基本操作:

### 1. ポートの選択

#### 1.1 フロントパネルのキーパッドを使用する

8x1(A30): 入力ポート1-8を選択するには、直接ボタン[1]-[8]を押します。

16x1(A10): 入力ポート1-9を選択するには、直接ボタン[1]-[9]を押し、[OUT]ボタンを押してから[0/Close]、[1]-[6]を押して入力ポート10-16を選択します。

#### 1.2 赤外線リモコンを使用する

8x1(A30): 入力ポート1-8を選択するには、赤外線リモコンの[1]-[8]ボタンを直接押します。

16x1(A10): 入力ポート1-16を選択するには、赤外線リモコンの[1]-[16]ボタンを直接押します。

#### 1.3 キーボードのホットキーを使用する

8x1(A30): キーボードの[Scroll lock]キーを2回押し、その後2秒以内に[1]-[8]を押して直接入力ポート1-8を選択します。16x1(A10): キーボードの[Scroll lock]キーを2回押し、その後

[1]を押して約2秒待って入力1を選択します。

16x1(A10): キーボードの[Scroll lock]キーを2回押し、その後2秒以内に[2]-[9]を押して直接入力ポート2-9を選択します。16x1(A10): キーボードの[Scroll lock]キーを2回押し、その後

[1]を押し、2秒以内に[0]-[6]を押して入力ポート10-16を選択します。

8x1(A30)および16x1(A10): キーボードの[Scroll lock]キーを2回押し、その後[Page Up] / [Page Down]を押して前のポートまたは次のポートを選択します。

## 2. 自動入力検出と切り替えのオン/オフ

自動入力検出をオン/オフするには、リモコンの[M]ボタンを押してください。

### 自動入力検出と切り替えモードがオンです：

新しいHDMI入力ソースをKVMスイッチに接続するか、HDMI入力ソースの電源をオンにすると、KVMスイッチは自動的にこの入力ソースに接続されている入力ポートを選択します。

HDMI入力ソースを抜いたり電源をオフにすると、KVMスイッチは最後に接続されたまたは最後に電源がオンになったHDMI入力ソースに切り替わります。

### 自動入力検出と切り替えモードがオフです：

新しいHDMI入力ソースをKVMスイッチに接続するか、HDMI入力ソースの電源をオンにすると、KVMスイッチは何も実行しません。また、HDMI入力ソースを抜いたり電源をオフにしても、KVMスイッチは何も実行しません。3

ブザーのミュート/ミュート解除

### 3.1 赤外線リモコン

ブザーのミュートまたはミュート解除するには、リモコンの[三] ボタンを押してください。

### 3.2 キーボードのホットキー

キーボードの[ScrollLock]キーを2回押し、その後[F11]キーを押してブザーのミュートまたはミュート解除を行ってください。

## 4. 自動スキャンモードのオン/オフ

### 4.1 フロントパネルのキーパッド

[Scan]ボタンを押すと自動スキャンが開始され、KVMは指定された時間間隔ですべての電源オンの入力ソースを自動的にループします。スキャンを停止するには、再度[Scan]ボタンを押してください。

## 4.2 赤外線リモコン

自動スキャンを開始するには、[P]ボタンを押してください。そうすると、KVMは指定された時間間隔で電源がオンになっているすべての入力ソースを自動的にループします。スキャンを停止するには、再度[P]ボタンを押してください。

## 4.3 キーボードのホットキー

キーボードの[ScrollLock]キーを2回押した後、2秒以内に[Space]キーを押すと、自動スキャンが開始されます。KVMは指定された時間間隔で電源がオンになっているすべての入力ソースを自動的にループします。スキャンを停止するには[Esc]キーを押してください。

## 5. 自動スキャンモードの時間間隔を設定してください

フロントパネルの[IN]ボタンを押して、0-59分の間をループします。

フロントパネルの[SEC]ボタンを押して、0-59秒の間をループします。

分と秒を設定した後、[Set]ボタンを押して最終的なスキャン時間間隔の設定に入力してください。

## 6. マウスジェスチャーによる切り替えの使用

キーボードの[ScrollLock]キーを2回押し、2秒以内に[F12]キーを押してマウスジェスチャーの切り替えをオンまたはオフにします。

マウスジェスチャー切り替えモードがオンの場合、マウスポインターを画面の左端または右端に1秒以内に移動させると、KVMは前の入力ソースまたは次の入力ソースに切り替わります。



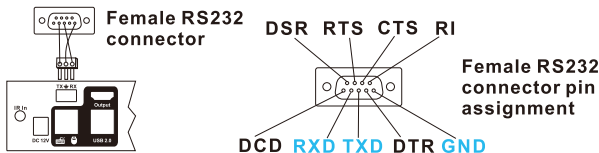
## RS232ポートとLANポート の使用方法:

RS232ポートおよびLANポートは、入力ソースの選択にのみ使用され、キーボードやマウスのデータ、さらにはビデオやオーディオの転送はできません。これは、入力ソースを終端制御デバイスによって切り替えたい特定の特殊なアプリケーション向けの冗長な設計です。通常、フロントパネルのキーパッド、赤外線リモコン、またはキーボードのホットキーを使用して入力ソースを切り替えることができます。

RS232およびLANポートのソフトウェアアプリケーションパッケージまたはAPIドキュメントについては、弊社の営業担当者にお問い合わせください。（Windowsシステムのみ対応）

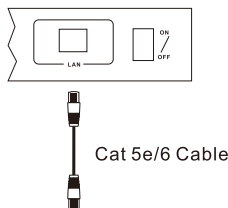
### 1. RS232ポートに接続してください

以下の図に従って、標準の9ピンRS232ポートをパッケージに含まれている3ピンコネクタに接続し、そのコネクタをKVMの‘TX ≒ RX’ポートに差し込んでください。



### 2. LANポートに接続してください

以下の図に従って、LANポートをローカルエリアネットワークのルーターに接続するか、Cat5e/6 UTPケーブルを使用して直接PCに接続してください。



ローカルエリアネットワークのルーターに接続するか、直接PCに接続してください

## 保証情報：

当社は、出荷日から1年間、この製品が材料または製作の欠陥がないことを保証します。

保証期間中に通常の使用においてこの製品が欠陥があることが判明した場合、当社はこの製品を修理または交換いたします。

ただし、この製品が機械的、電氣的、またはその他の乱用や改造にさらされていない場合に限りです。保証対象外の条件下で故障した場合は、修理費用は修理時の部品および労働費の現行価格で修理されます。そのような修理は、再出荷日から6ヶ月間保証されます。